

きれいな水って、 どんな水。

2000年春号より、
水をテーマに

お届けしているビワズ通信。

今号は、私たちの心や

暮らしに潤いをもたらす

きれいな水にスポットを当て、

人と水とのふれあいや

水辺の自然を活かす

これからの川づくりなどを

ご紹介します。

水がもたらす
癒しの効用。

谷川のせせらぎに耳を傾けたり、と
うとうと流れる川面を見つめてい
それだけで心がやすらいだ経験はあ
りませんか。人は水辺に立ち、たえず
流れる水に接すると自然の大きな
リズムを感じ、自分自身の身体の中
脈打つ生命感を思い起こすといわれ
ています。それが、水のもつ癒しの効
用です。人類の生命の起源が海にあ
ることや母親の体内で羊水に包まれ
て過ごした時間の記憶が深く関わっ
ているのかもしれませんが、人の体と水
との関係には、まだまだ科学の力で解
明されていない要素も数多くござ
れています。人が水によって癒され



る感覚を認識しながら、かけがえの
ない水や自然の大切さを知ることが
「親水」のもつもうひとつの大きな意
味といえるでしょう。

「親水」 を考える。

ちよつと耳慣れない「親水」という言葉ですが、
本来は「水にふれる」「水に接する」という意味をもち、
水辺のレクリエーションやスポーツ、散策をはじめ、
水のある景観を通して心理的・情緒的な満足を得ることを親水活動と呼びます。
しかし、「親水」という言葉のもつ意味も時代とともに変化し、
今日では、単に「水に親しむ」だけではなく、
水辺の生き物や自然と共存することや、地域性を知って、
それぞれの川や湖のもつ魅力にふれることも大きな要素になっています。
夏休みを迎え、水と接する機会が多くなる季節ですが、
果たして、あなたの親水度はどのくらいですか。

